

第四十六回帝國議會
衆議院

陪審法案

行政裁判法中改正法律案
訴訟法中改正法律案
司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル法律案
岐阜地方及區裁判所移轉改築ニ關スル建議案

委員會會議錄(速記)第十三回

會議

大正十二年三月九日午前十一時四十分開議

出席委員左ノ如シ

理事 黑住 成章君 理事 橫山勝太郎君
宮崎三之助君 齋藤鷲太郎君 井坂 豐光君
清水市太郎君 麓 純義君 熊谷 直太君
作間 耕逸君 砂田 重政君

出席政府委員左ノ如シ

法制局長官 馬場 鑛一君
司法省民事局長 池田寅二郎君
司法書記官 近藤 三郎君

委員長ノ許可ヲ得テ出席シタル者左ノ如シ

大道寺慶男君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

行政裁判法中改正法律案(宮古啓三郎君外十五名提出)

訴訟法中改正法律案(宮古啓三郎君外十五名提出)

司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル法律案(熊谷直太君外四名提出)

岐阜地方及區裁判所移轉改築ニ關スル建議案(山田永俊君外二名提出)

○黑住委員長代理 ソレデハ是ヨリ會議ヲ開キマス、引續キ司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル法律案ノ討議ニ入リマス

○宮崎委員 私ハソレニ付テ先例モアリマスカラ、一寸質問ヲシタイト思ヒマスカラ……

○黑住委員長代理 ソレデハ只今付議致シマシタ分ハ後ニ廻シマス

○熊谷委員 辯護士法ニ付テ質問シタイノデスカ、宮崎君ハ……

○黑住委員長代理 ソレデハ行政裁判法中改正法律案、及訴訟法中改正法律案ノ討議ニ入リマス

〔討議ヲ用キテ異議ナシト呼フ者アリ〕

○黑住委員長代理 異議ナシト認メテ、原案ヲ是認スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○黑住委員長代理 左様ニ決シマスサウスト司法官試

第五類第十號 陪審法案委員會會議錄 第十三回

大正十二年三月九日

補及辯護士ノ資格ニ關スル法律案ノ討議ニ入リマス

○砂田委員 此案ハ純理ノ上カラ考ヘマスルト、甚ダ徹底シナイ點ガアルヤウニ思ヒマスガ、情ノ上ニ於テ、二ツノ改正ノ點ハ何レモ實際ノ事實上ニ適シタモノト思ヒマスカラ賛成致シマス

○橫山委員 昨日質問致シタル通り、又熊谷君カラ同情アル御答ガアリマシタガ、新大學令ニ依ル私立大學ノ學生ニ對シテモ、當局ガ此法案ニ準ジテ相當ナル救済ノ方法ヲ與ヘテ與レラレルコトヲ希望致シマス、或ハ本會ニ於テ我黨ノ他ノ委員カラ修正案ガ出タカモ知レマセヌガ、吾々委員トシテ本案ハ其條件ニ賛成致シマス

○宮崎委員 本案ニ賛成致シマス

○黑住委員長代理 ソレデハ原案ヲ是認スルコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○黑住委員長代理 ソレデハ左様決シマス——次ニ大道寺君ノ提案ニ係ル岐阜地方及區裁判所移轉改築ニ關スル建議案ヲ議題ニ供シマス

○大道寺慶男君 岐阜地方裁判所並ニ區裁判所ハ三十年前ノ建築ニ係リ、建築ノ當時ハ繁榮地ニテラサル市ノ一隅ニ據テ居リマシタガ、市ノ發展ト共ニ今日ハ中央部ニテ商業地區ノ中心ニ裁判所ガ大ナル敷地ヲ構込シテ居ル形デアリマス、隨テ市ノ繁榮ヲ阻害スルノデアリマス、又家屋モ木造デ古イ建物デアリマスカラ、執務上及防火上甚ダ宜シクナイ狀態デアリマス、ソレデ成ベク速ニ移轉シテ改築セラル、コトヲ望ミマス

○作間委員 提案者ニハ目下適當ナル候補地凡ソ此處ニ移シタルバト云フ見當デモ付イテ居ル場所ガアルノデスカ

○大道寺慶男君 市トシテハ此邊ニ設ケタナラバ宜カラウト云フ所ヲ考ヘテ居リマス、司法省ノ方デサウ云フ御方針ガ決定致シマスレバ、其土地ヲ寄附スルトカ、何イカンデ、案ヲ立テタイト思ヒマス、何分現在ノ所ハ元ガ極マリマセヌト、確定的ニ此處ニ移シテ貫ヒタイト云フ程度マデ進ンデ居リマセヌ

○宮崎委員 政府ノ御意見ハドウデスカ

○池田政府委員 只今提案者ノ御説明ノ如ク、岐阜ノ地方及區裁判所ハ設立以來古クナリテ居リマシテ、早晚改築ノ必要ハアルノデアリマス、愈、實施スル事ニナレバ、豫算

其他ニ關係ガアリマスカラ、相當ニ考慮セラル、コト、考ヘマス

○橫山委員 本案ニ格別關係アリマセヌガ、此機會ニ於テ司法當局ニ御尋致シマスガ、東京ノ裁判所ノ狀態デス、東京控訴院ノ如キハ法廷ガモウ足りナイ、五號法廷ノ如キハ傍聽人ガ二三人以上這入レナイ、當事者ト辯護士ガ十人カ十五人居リマスルト、他ニ訴訟關係人トシテ傍聽スル者ハ五人ハ這入レナイ、辯護士モ澤山ナトキニハ矢張這入レナイ、辯護士ノ居ル席モナイ位デス、ソレカラ又他ノ訴訟事件ガ濟ムマデハ、一時間立ッテモ待テ居ナケレバナラヌ狀態デ、中デ記錄ヲ見ルコトモ出來ズ、腰ヲ掛ケル場所モナイ、斯ノ如キハ裁判所ヲ公開スルト申シマスガ、公開デナク秘密デヤテ居ルノモ同様デアリマス、而シテ一面ニ於テ大審院ハドウカト云フト、民刑ヲ通ジテ二ツノ大法廷ガアリマスガ、傍聽人ハ十人ヲ超過スルコトハ殆ド無イ、傍聽席ハガラ明キデ、埃デ全部穢レテ居ル、サウシテ關係辯護士ハ今ノ刑事訴訟法、民事訴訟法ノ規定ノ下ニ於テハ極メテ數ガ少イ、傍聽人モ今申ス如ク極メテ僅カデアル、之ニ反シテ一面ニ於テ控訴院ノ如キハ實ニ狹隘ヲ極メテ居テ、殊ニ二階ノ民事ノ法廷ノ如キハ極メテ狹隘デ一日二十四件前後ノ事件ヲ扱テ居ル、關係人モ多イ、隨テ關係辯護士モ二十人モ三十人モ居テ、法廷ハ齷齪ノ如クナリテ居ル、サウシテ席下ニハ訴訟關係人ヤ傍聽人ガ一杯集テ居テ、肩摩轂擊ノ雜沓デアル、惡口ヲ言フ者ハ拘摸ガ出ヤシナイカト云テ居リマス、全クデアリマス、午前十時カラ十二時迄ノ間ト云フモノハ、彼處ヲ通過スルノサヘ困難デアル、ドウシテアンナ抽イ設計ヲシタカ、苟モ裁判所ト云フモノガ、ドウ云フモノデアルカト云フ性質ヲ知テ居ルナラバ、多少ノ考慮ヲ費シタナラバ直ニ御分リニナル、斯ノ如キ狹隘ナル不完全ナルモノヲ造テ、殆ド傍聽スルコトモ通行スルコトモ出來ナイ、然ラバ室ガナイノデアルカト云フト、サウデナイ、臨時法廷トシテ用キルアノ應接室トカ、何トカ云フ札ノ掛ケタル所ハガラ明キデアル、一箇月ニ一過カ、一週間ニ一過必要デアルカ知ラヌガ、殆ド空家ニナリテ居ル、立派ナ室ヲ空家ニシテ置イテ、日常使フ所ハ傍聽人モ這入レナイト云フコトハ、是ハ建物ガ惡イノデナク、行政監督ノ任ニアル人ガ惡イ、過日モ司法省ノ御方ニモ申シテ置キマシタガ、今ノ大審院ノ法廷ノ如キハ、中間ニ硝子ナリ何ナリテ壁ヲ造テ一分致シマスレバ、今ノ控訴院ノ各法廷ヨリ立派ナモノガ出來ル、大審院ノ民事

第四十六回帝國議會
衆議院

陪審法案

行政裁判法中改正法律案
訴訟法中改正法律案
司法官試補及辯護士ノ資格ニ關スル法律案
岐阜地方及區裁判所移轉改築ニ關スル建議案

委員會會議錄(速記)第十三回

ハ十一時半頃御開廷ニナリ、十二時ニハビチント済ム、刑
事ノ方モサウデア、マルデガラ明キデア、然ルニ控訴院ヤ
地方ニ行クト今申上ゲル通りデア、地方ハ民事ガ四部ノ
モノガ五部ニナリ、六部ニナリ、今日ハ十三部ニテ居ル、九
部以上ハ區裁判所ノ法廷ヲ使テ居ル、是ガ爲ニ訴訟關
係人モ訴訟代理人モ非常ニ不便ヲ感ゼテ居ル、司法監督
權デ多少ノ融通ハ出來ルト思ヒマスガ、今尙ホ斯ノ如キ方
法ヲヤテ居ル、當局ハ大審院區裁判所ニ於ケル法廷及傍
聽人ノ狀態ヲ、今迄ノ儘デ看過サレルカドウカ、若シ私ノ言
フコトガ間違テ居ルト思フ、ナラバ、是カラ控訴院ノ五號法
廷ニ行テ御覽ナサイ、傍聽人ゴドンナ狀態ニテ居ルカ、裁
判ヲ公開スルト憲法ニアリナガラ、二人ヤ三人ノ傍聽人ヲ
入レテ裁判ノ公開ト云フコトガ言ヘマスカ、此現狀ニ付
テ司法當局ガモウ少シ考慮サレルコトガ必要デアルト思ヒ
マスガ、此點ニ關スル御見解ヲ承リタイ

○池田政府委員 只今横山委員ヨリ區裁判所、地方裁
判所、控訴院ノ建物ガ狹隘デア、事務ノ取扱ニモ頗ル不
便ヲ感ゼテ居リ、訴訟關係人傍聽人等モ頗ル不便ヲ感ジ
テ居ル、部屋線リノ都合ニ依テ多少ノ都合ハ付ク所モ見
エル、一體此現狀ニ付テドウ云フ考ヲ持テ居ルカト云フヤ
ウナ御尋デアリマシタ、御話ノ如クニ殊ニ區裁判所、地方
裁判所ガ甚シイデアリマスガ、事件ハ非常ニ勢ヲ増加致シ
マス、隨テ裁判所ノ事務室モ、法廷モ、共ニ殖サナケレバナ
ラヌト云フ必要ガ刻々ニ迫テ居リマスガ、只今ハソレヲ十分ニ
充タスコトガ出來ナイ、寔ニ遺憾ナ狀態ニアルト云フコトハ
大體今横山君ヨリ申サレタ通りデアリマシタ、當局ト致シマ
シテモ是ニハ困テ居ルノデアリマス、地方裁判所ノ如キハ
有ユル方法ヲ盡シマシテ、部屋ノ利用ヲ致シマシテ尙ホ足
ラズ、或ハ地下室等ヲ最近利用スルコトニナリ、サウシテ事
務室ノ一部ヲソレニ移スト云フヤウナ仕組ヲ致シマシテ漸
ク間ニ合テモ居リマセヌケレドモ、ソレデ辛抱シテヤテ行ク
ト云フヤウナ狀態デアリマシタ、寔ニ訴訟關係人等ノ便利
ヲ十分ニ圖ルコトノ出來ナイト云フコトハ遺憾ニ考ヘテ居
リマス、區裁判所ノ如キモ、アノ相當ノ廣大ナルモノヲ造リ
マシタケレドモ、事件ノ増加ト云フモノハ遙ニソレニ超過致
シマシタ、ソレニ例ヘバ調停事件ノ如キモノモアリ、或ハ區裁
判所ノ如キハ、今度ハ破産事件モ來ルト云フヤウナコトニナ
リマスシ、其以外ニモ事件其モノ、數モ段々殖エテ參リマシ
テ、何トカ此處理ヲ付ケネバナラヌト云フコトハ、當局ニ於キ
マシテモ、日夜苦慮シテ居ル次第デアリマス、今度刑事訴訟
法ノ實施ノ爲ニ、多少ノ増築ハ出來ル計畫ニナリテ居リマス
ガ多少ノ緩和ハ得ラレルコト、思ヒマスケレドモ、或ハソレ
デモ尙ホ足ラヌト云フコトニナラダラウト云フコトヲ實ハ虞

レテ居リマスノデ、此狀態ハ實ハ大阪アタリデモ矢張非常ニ
狹隘ヲ感ゼテ居ルヤウナ事ヲ承テ居リマスガ、大都會ノ裁
判所ニ於キマシテハ、如何ニモ事件ノ増加ノ趨勢ガ甚シイ
爲ニ、廳舎ガ日々狹キヲ告ゲテ居ルト云フ狀態ハ、日々裁判
所ニ行テ見マシレバ能ク分リマス、之ニ就テハ何トカ改良
ヲ加ヘ、モウ少シ悠ク事務ガ執レルヤウニ、モウ少シ十分
訴訟關係人ニモ満足ヲ與ヘルヤウニシタイト云フ希望ハ大
分持テ居リマス、部屋線リテ付テハ餘程苦心シテ、出來ル
ダケノ事ハ實行シツ、アル次第デゴザイマスガ、奈何セン大
體ガ狹イノデ、今ノ儘デハ是レ以上ノ仕繰リハ一寸付キ難
イヤウナ現狀デアリマス、併シ無論之ニ満足スルモノデナク、
又満足セラルベキモノデモアリマセヌノデ、政府ノ都合ノ付
ク範圍ニ於テ之ヲ擴張シ、其便宜ヲ圖ルト云フコトニ致ッ
タイト考ヘテ居リマス

○横山委員 御言葉ハ寔ニ鄭重ナ御答デ満足致シマスル
ガ、併シ日夜苦慮致シテ居ルカ、部屋ノ都合ガ付キ兼ネル
トカ仰セニナリマスガ、ソレガ全然間違テ居ル、私民間ノ者
トシテ其方策ヲ一ツ申上ゲマス、先刻申上ゲタヤウニ、大審
院ノ法廷ヲ二分スレバ、二ツノ大キナ部屋ガ出來ル、又控訴
院ノ大キナ部屋ヲ借地借家ノ調停ニ使テ居リマスガ、事件
ハ何件扱ヒマシタカ、一日ニ一件モ扱ハズニ大キナ部屋ヲ
空ケテアル、ソレカラ檢事正、所長ノ部屋モ、何ノ必要ガアッ
デ、云フ大キナ所ニ居ラセシ、私ハ檢事正、所長ヲ虐待ス
ル譯デアリマセヌガ、檢事正ト所長ノ室ヲ使テ御覽ナサ
イ、立派ナ室ガ出來ル、調停委員室ニ檢事正ガオキデナリ
テ、ソレカラ監督書記ノ次ノ室ノ處ニ所長ガオキデナリ
テ、何ガ不便デアル、行テ御覽ニナレバ分ルガ、大キナ机ノ上ニ
行政監督ノ爲ニ來ル書類ト云フモノハ、小サナ函ニ少シシ
カ違入テ居ラス、面會人ハ日ニ何十人アルカ、吾々ガ行ク
時分ニハ一人カ二人シカ居ラス、サウシテ實際仕事ヲスル
裁判官ハ、アノ狹イ室ニマルデ押込メ同様ニナリ、仕事ヲシ
テ居ル、ソレカラ又大審院ノ檢事總長、院長ハ、何ノ必要ガ
アッデ、云フ所ニ居ララルカ、横田院長ノ如キハ毎日「ミユ
ン（ペン）ビル」ヲ召上テ、寔ニ贅澤ニシテ大キナ室ニ居ラレ
ル、アノ院長室ヲ一ツニシテ、檢事總長ト院長ガオキデニナ
テ何等ノ不便ハナイ、實際仕事ヲスル裁判官ガ監督書記ハ
アノ座ノ中ニ居テ、サウシテ大審院長、控訴院長、檢事正
或ハ地方裁判所長ト云フモノハ、必要ノナイ大キナ部屋ニ、
アノ小サナ身體ヲ大キナ室ニ横タヘテ居ラレル、能フベクン
バ檢事正モ所長モ優遇シテ置ク室ヲ與ヘタイケレドモ、現ニ
四十件モ五十件モノ劇務ニ從事シテ居ル裁判所書記ヤ、
裁判所判事ト云フモノガ二十人モ三十人モ狹イ室ニ居テ、
院長、檢事正ト云フモノハ大キナ室ニ居ラレル筈ハナイト思

フ、是ハ矢張り一種ノ事大思想トカ、舊思想若クハ官尊民
卑ノ思想ガ彼處ニ殘テ居ル、現ニ吾々辯護士ノ室モ一瞥
ヲ願ヒタイ、十時半頃ニナルト外套ヲ置ク所モナイ、帽子ヲ
置ク所モナイ、ソレデ椅子ノ上ニ置イテ居ル、外套ノ上ニ帽
子ヲ置ク、吾々ノ帽子ヲ置イタ上ニ又置ク、斯ウ云フ狀態デ
アル、ソレデ面會人ガ來マシテモ、面會スルコトモ出來ナイ、
ソレデ所長、院長、檢事正ノ室ハマルデ空家同様ニナリテ居
ル、區裁判所ノ監督ヲ爲スニハ次ノ室ニ居テサウシテ書記
ノ仕事ヲ御監督ナサルノガ便宜デアル、サウスレバ法廷ガ取
敢ヘズ十バカリハ直ガ出來ル、日夜苦慮サレヌデモ、一晚御
考ヘニナラタ何デモナイ事デアル、實際池田サンハ裁判所
ニ居ラレテ能ク分テオキデセウガ、裁判官ガ法廷デ仕事
ヲシテ來テ腰ヲ掛ケル所モナイ、其處デ合議ヲセイ、其處デ
審議ヲセイト云フコトハ無理ナ話デアル、院長ヤ檢事正ハ何
モスル事ハナイ、成程面會ニ行タリ、相談ニ行ク位ノ事デア
ル、司法當局ガ此處ニ注意ヲセラヌト云フコトハ、日夜苦
慮ナサルト云フ御言葉ハ寔ニ結構デアルガ、私共一晚考ヘ
レバ出來ル事デアルト思ヒマス、此邊ニ付テハ實際人
道問題カラ來テ居ル、實際仕事ヲシテ居ル、日々四十件五
十件ノ仕事ヲシテ居ル裁判官ヲ、アノ座ノ中ノ狹イ部屋ニ
置イテ、院長、檢事正ト云フモノハ獨リ大キナ部屋ニ傲然ト
シテ居ル、餘裕ガアレバ結構デアスガ、餘裕ガ無イ今日デア
ルカラ、此都合ハ出來ルデアリマセウガ、ソレヲ何テ置キタイ
○池田政府委員 色々御述ベニナリマシタガ、結局モウ少
シ部屋線リガ出來ル都合ガ出來ル譯デアリマスガ、此事ニ
付キマシテハ左様ニ簡單ニモ行キ難イ事情モアリマスシ、大
體ニ於テソレ等ノ事ヨリモ、此建物ガ事務其モノト副ハヌヤ
ウナ狀態ニ今日ナリテ來テ居ルノガ本デアラウト思ヒマス、ソ
レニ付テハ何等カ他ニ適當ナ建物ヲ建テルトカニ云フヤウナ
コトデ解決スル必要ガアルカト思ヒマス、今ノ或ハ院長デア
ルトカ、所長デアルトカ、檢事正デアルトカ云フヤウナ、ソ
レトニ職責相當ノ部屋ニ配置スルト云フコトニ付キマシ
テハ司法省ニ於キマシテモ是ハ十分考ヘタ上デアリマセウ、ソ
レモ其計畫ノ限リニ於キマシテハ、部屋ノ融通ヲスルコトハ之
ハ勿論ノ事デゴザイマス、中々是等ノ事ハサウ簡單ニハ參リ
兼ネルノデアリマスカラ、一言附加ヘテ置キマス

○黒住委員長代理 此機會ニ司法當局ニ一ツ私ヨリ伺
ヒタイ、裁判所廳舎ノ移築ニ付テ司法當局ノ方針デスガ、
先年函館控訴院ガ札幌ニ移轉ニナリマシタ、其理由ハ人民
ノ便否ヲ深ク考慮シテ、比較的中央ニ裁判所ハ持テ行カ
ナクテハナラス、斯ウ云フ理由ノ下ニ移轉サレタ、御承知ノ
如ク函館ノ控訴院ハ明治三十年ノ新築ニ屬スルノデアリ
マシテ、恰モ當時緊縮方針デ、總テモノヲ整理々々ト云フ
時ニ、遂ニ此移轉ガ行ハレタデアリマス、斯様ニ人民ノ便

否ヲ考ヘテ中央ニ移轉ヲスルト云フ一ツノ御言明ガアルニ拘ラズ、等シク一方ニ偏在シテ居ル所ノ長崎控訴院ハ、間ク所ニ依ルトアレハ明治十年ノ建築ニ係ル、サウシテ北海道ハ人口二百三十万ヲ包容シテ居ル、二百三十万ノ便否ハ司法當局ハ御考ニナッテ、七八百万ヲ有シテ居ル所ノ九州ノ人民ノ便否ヲ御考ニナラヌノデアリマスカ、移轉ニ關スル御方針ナルモノハ甚ダ解シ難ネルノデアリマスカラ、此機會ニ一寸伺ヒマス

○池田政府委員　長崎ノ控訴院ヲ管内ノ中央ニ移サナイト云フコトハ、一體中央部ノ便宜ナ所ニ凡ソ裁判所ヲ持テ行ク主義方針ト一致シナイデハナイカト云フコトノ御問ノヤウデアリマス、其問題ニ付キマシテハ私ヨリ茲ニ御答スルヨリモ、他ノ政府委員ヨリ御答ヘスル方が適當デアラウカト思ヒマスカラ私ハ差控ヘマス

○黒住委員長代理　他ノ機會ニ伺ヒマセウ、ソレデハ本案ニ付キマシテ質問アリマセヌカ

〔アリマセヌ〕ト呼フ者アリ

○黒住委員長代理　質問終了ト認ノマス、討議ニ這入リマス、討論アリマセヌカ

〔異議ナシ〕賛成〕ト呼フ者アリ

○黒住委員長代理　原案ヲ是認スルコトニ致シマス、是ニテ散會

午後零時二十二分散會

大正十二年三月十六日印刷

大正十二年三月十七日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局